

2018年4月25日
株式会社 住金システム建築
代表取締役社長 生井敏夫

17年度業績と18年度計画について

17年度の当社の受注高は前期比7%増の222億円（前期205億円）、売上高は同5%増の201億円（同190億円）となった。受注高は7年連続過去最高を更新した。

前年度に比べ受注が躍進した地区としては、中部地区で前期比6.2%増26億円、関西地区で同2倍超31億円、中国地区で同2.3%増18億円、九州地区で同2倍超16億円であった。受注棟数は262棟（同250棟）、受注床面積50万㎡（同48.2万㎡）、一棟当りの平均床面積1910㎡（同1928㎡）であった。当社の販売ネットワークである「住金システム建築会」の会員数は同87社増の1496社(※)となった。

(※3月末での「住金システム建築会」会員構成比は、ゼネコン73%、流通14%、設計事務所13%)

業績が堅調な理由として、当社は基礎までシステム化した商品を保有し、慢性的な職人不足と現場管理者不足という建設業界が抱える問題を解消できること、他工法に比べ価格・工期の優位性が拡大してきたこと、商品バリエーションが豊富であることが挙げられる。他に、地域に密着した営業体制、下請に徹している当社のビジネススタイルも、顧客である設計事務所やゼネコンから評価されている。18年度の受注高は220億円、売上高は210億円を見込む。当社は、今後も高い技術と真摯な姿勢を持ってお客様と向き合い、システム建築業界において“最初に声をかけられ、最後に選ばれる会社”となることを目指します。



物件名／「(仮称) ㈱朋昆新冷蔵倉庫新築工事」 建設地／広島県尾道市
用途／倉庫 商品名／トレオ 平屋／施工床面積／1,652㎡
建築主／株式会社朋昆様 設計者／有限会社共和設計様 施工／山陽建設株式会社様
特記／盛土式プラットホームの冷凍・冷蔵倉庫。低コスト・短工期が評価された。